

Unity Connection 単一受信トレイのロード バランサの問題

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

このドキュメントでは、ロード バランサと Cisco Unity Connection Single Inbox 機能で発生する問題について説明します。この問題は、Sticky Connection 機能を使用しない場合にしばしば発生します。基本的に、同一トランザクションでは同一 Exchange Web Service (EWS) 接続を使用することが求められます。このドキュメントでは、使用中のロード バランサで発生する問題の例を示します。

問題

さまざまなユーザに対するメッセージは、Microsoft Exchange 2010 と一貫した方法で同期しません。つまり、同一ユーザに対するメッセージが、変更なしで適切に同期することがあります。

ここで説明するケースでは、Cisco Application Control Engine (ACE) ハードウェア ロード バランサが使用されています。CuMbxSync トレースに、障害発生時点で次のエラーが示されていることがあります。

```
HTTP request failed with error:  
Failed sending data to the peer --  
SSL read: error:00000000:lib(0):func(0):  
reason(0), errno 104, HTTP status code: 0
```

パケット キャプチャが、Cisco Unity Connection から Microsoft Exchange への EWS 接続がリセットされたことを示していることがあります。このリセットは、ロード バランサが原因で発生することがあります。

解決策

ロード バランサは、Microsoft Outlook Web Application (OWA) 用に設計されたポリシーを使用し、接続を頻繁にリセットします。この問題を解決するには、ロード バランサで、Microsoft Exchange Client Access Server (CAS) への接続に使用されるが、セッション Cookie に基づいて Sticky Connection に適用される OWA ポリシーによっては処理されない別の仮想 IP を作成する必要があります。次に、Cisco Unity Connection Unified Messaging Service がこの仮想 IP アド

レスをポイントするようにし、ユーザに適用します。

この解決策を実施するには、次の手順を実行します。

1. ロード バランサではなく CAS を直接ポイントする新しいユニファイド メッセージング サービスを設定します。この場合、メッセージが常に配信され、頻繁な障害は発生しません。これにより、ロード バランサが問題の原因であることが確認されます。
2. [Unified Messaging] > [Unfied Messaging Service] > [Add New] に移動し、適切な情報を入力します。Microsoft Exchange CAS 完全修飾ドメイン名または IP アドレスを直接ポイントします。
3. [Users] > [(テストするユーザを選択)] > [Edit] > [Unified Messaging Accounts] に移動し、現在アカウントがある場合はそのアカウントを削除します。作成した新しいサービスを追加します。